

第35回 京都フランス音楽アカデミー

ACADÉMIE
DE MUSIQUE
FRANÇAISE
DE KYOTO

アンサンブル・スペシャル・コンサート2026

Concert de la 35ème Académie de musique française de Kyoto

・ソプラノ・



シャンタル・マティアス
Chantal Mathias

・ピアノ・



ブルーノ・リグット
Bruno Rigutto

・ピアノ・



クレール・デゼール
Claire Désert

・ピアノ・



バスカル・ロジェ
Pascal Rogé

・ヴァイオリン・



ステファニー＝マリー・ドゥガン
Stéphanie-Marie Degand

・ヴァイオリン・



レジス・パスキエ
Régis Pasquier

・ヴィオラ・



ピエール・レネル
Pierre Lenert

・チェロ・



ジュリー・セヴィヤ・フレッス
Julie Sévilla Fraysse

・チェロ・



ディアナ・リゲティ
Diana Ligeti

・フルート・



ジャン・フェランディス
Jean Ferrandis

・オーボエ・



マチュー・プティジャン
Matthieu Petitjean

第
1
部

G.フォーレ：ピアノ三重奏曲 ニ短調 Op.120 第2楽章、第3楽章

Gabriel Fauré : Trio pour piano, violon et violoncelle en ré mineur op.120, 2^e et 3^e mouvements

P.ロジェ (Pf)、R.バスキエ (Vn)、J.セヴィヤ・フレッス (Vc)

B.ブリテン：幻想曲 Op.2

Benjamin Britten : Phantasy op.2

M.プティジャン (Ob)、S-M.ドゥガン (Vn)、P.レネル (Va)、D.リゲティ (Vc)

C.サン＝サーンス：夕暮れのヴァイオリン

Camille Saint-Saëns : Violons dans le soir

C.マティアス (Sop)、S-M.ドゥガン (Vn)、C.デゼール (Pf)

C.シャミナード：メヌエット

Cécile Chaminade : Menuet

C.マティアス (Sop)、S-M.ドゥガン (Vn)、C.デゼール (Pf)

C.ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10 第1楽章、第2楽章

Claude Debussy : Quatuor à cordes en sol mineur op.10, 1^{er} et 2^e mouvements

R.バスキエ (Vn)、S-M.ドゥガン (Vn)、P.レネル (Va)、D.リゲティ (Vc)

第
2
部

L.v.ベートーヴェン：セレナーデ ニ長調 Op.25

第1楽章、第2楽章、第3楽章

Ludwig van Beethoven : Sérénade pour flûte, violon et alto en ré majeur op.25, 1^{er}, 2^e et 3^e mouvements

J.フェランディス (Fl)、S-M.ドゥガン (Vn)、P.レネル (Va)

P.ゴッセル：3つの水彩画 第2楽章、第3楽章

Philippe Gaubert : Trois Aquarelles, 2^e et 3^e mouvements

J.フェランディス (Fl)、D.リゲティ (Vc)、B.リグット (Pf)

M.ラヴェル：ヴァイオリン・ソナタ ト長調 第2楽章、第3楽章

Maurice Ravel : Sonate pour violon et piano en sol majeur, 2^e et 3^e mouvements

R.バスキエ (Vn)、B.リグット (Pf)

J.ブラームス：ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25

第3楽章、第4楽章

Johannes Brahms : Quatuor pour piano et cordes n°1 en sol mineur op.25, 3^e et 4^e mouvements

C.デゼール (Pf)、S-M.ドゥガン (Vn)、P.レネル (Va)、J.セヴィヤ・フレッス (Vc)

日時 2026年4月4日(土) 14時開演(13時30分開場)

料金 【全自由席・税込】 一般：¥4,000、学生／クラブ・フランス会員：¥3,000

会場 京都府立府民ホール「アルティ」
地下鉄丸丸線「今出川駅」下車、6番出口を出て右手(南へ)徒歩5分

お問合せ 京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局 Tel. 075-761-2114 (日・月・祝休)

【協 力】 エリート音楽事務所 075-751-0617

【助成】 関西日仏学館(京都) 075-761-2105 (大阪) 06-6358-7391 / 京都府立府民ホールアルティ 075-441-1414

エリート音楽事務所 075-751-0617 / チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード: 315-720 / Peatix <https://academie2026-concert.peatix.com>

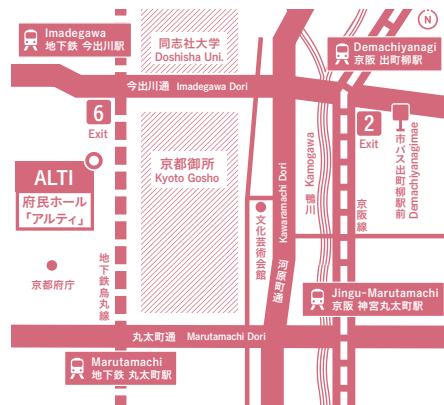
【主催】 京都フランス音楽アカデミー実行委員会 【後援】 京都市、在日フランス大使館／アンステイチュ・フランセ、在京フランス総領事館

【助成】 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション、笹川日仏財団

【協賛】 稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、株式会社 ビュッフェ・クラボン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、株式会社 旭堂楽器店

【協力】 京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ウィラ九条山 【教育提携】 パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院

※ やむを得ず曲目や出演者等の内容を予告なく変更する場合があります。 ※ 最新情報は公式サイト(academie.institutfrancais.jp)をご確認ください。 ※ 未就学児童の入場はご遠慮ください。



ソリストとしても世界中で活躍する京都フランス音楽アカデミー教授陣が一堂に集う唯一無二の機会です。 珠玉のコラボレーションによる室内楽の世界をお楽しみください。

シャンタル・マティアス

Chantal Mathias

パリ国立高等音楽院とラン国立歌劇場スタジオ「ジュンヌ・ヴォワ・ドゥ・ラン」で学ぶ。アヴィニョンでのロッシニ「ランスへの旅」コルテーゼ夫人役と、ブラハでのブーランク「人間の声」でキャリアを開始。10年間リュベック歌劇場（ドイツ）の専属歌手を務め、「カルメン」ミカエラ、「ファウスト」マルグリット、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「魔笛」パミーナ等、出演多数。各国の室内楽フェスティバルにも参加している。パリ国立高等音楽院教授。

クレール・デゼール

Claire Désert

14歳でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをV.ヤンコフに、室内楽をJ.ユボーの下で学ぶ。同音楽院修士課程で室内楽をR.ピドゥーに師事。Y.マリニンに出会われ、モスクワ音楽院にも留学した。ソリストとしてパリ管弦楽団等の主要オーケストラやM.ヤノフスキらの指揮者と共演する他、室内楽ではE.シュトロッセらと定期的に共演している。充実したディスコグラフィーを誇り、シューマンを収めたCDが高評を得ている。パリ国立高等音楽院教授。

ブルーノ・リグット

Bruno Rigutto

パリ国立高等音楽院でピアノをL.デカーヴに、室内楽をJ.ユボーに師事し、ロン＝ティボー国際コンクールとチャイコフスキー国際コンクールで入賞。10年間S.フランソワの唯一の弟子となる。若くして国際的に認められ、C.M.ジュリーニら著名な指揮者に招聘される。室内楽ではI.スターンらと共演。録音も多数で、ディスク大賞を複数回受賞。パリ国立高等音楽院で20年以上教鞭をとった後、現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

パスカル・ロジェ

Pascal Rogé

フランス・ピアノズムを代表する名手。パリ国立高等音楽院で学ぶと共に、J.カッテンヤ、N.ブーランジェにも薫陶を受けた。ジョルジュ・エネスク国際コンクール入賞およびロン＝ティボー国際コンクール第1位を受賞後、17歳でデッカ・レコードの専属アーティストとなる。これまでに世界中の主要なコンサートホールで公演を行っている。若い世代にも関心を寄せ、パリ・エコール・ノルマル音楽院では教授として後進の指導にあたっている。

ステファニー＝マリー・ドゥガン

Stéphanie-Marie Degand

17世紀から現代音楽までのレパートリーを習得した数少ない演奏家の1人。パリ国立高等音楽院でJ.ゲステムらに師事。現在はソリスト、室内楽奏者、コンサートマスターや指揮者、指導者として活躍中。00年E.アイムと古楽アンサンブル「ルコンセル・ダストレ」を結成。12年よりパリ国立高等音楽院教授。録音ではモンテヴェルディからタンギーまでを網羅する。22年のコンセル・パドル管弦楽団との共演等、指揮活動にも注力している。

レジス・パスキエ

Régis Pasquier

12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞受賞。14歳で渡米し、I.スターン、D.オISTRAフらと出会う。Z.フランチェスカッティとはパッサの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。ソリストとして各国のオーケストラでL.マゼールら名指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽ではM.ロストロポーヴィチらと共演。若手育成にも力を注ぎ、85年～11年パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

ピエール・レネール

Pierre Lenert

65年のE.ヴァルディ以降、ヴィオラでバガニーニ「24のカプリース」の録音を行ったヨーロッパで唯一の演奏家。これまでにヴェータン「ヴィオラとピアノのための作品集」等のCDを発表。ピアニスト広瀬悦子とのデュオではCD「情熱」をリリース。主要な国際コンクール（ライオネル・ターティス、マルクノイキルヘン、モーリス・ヴェー）の受賞者でもある。パリ国立歌劇場管弦楽団ソロ首席ヴィオラ奏者。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

ジュリー・セヴィヤ・フレッス

Julie Sévilla Fraysse

パリ国立高等音楽院とエリザベート王妃音楽院で学んだ後、ギャルド・レピュブリケーヌ管弦楽団とパリ国立歌劇場管弦楽団に所属。さらにヨーロッパやアメリカの舞台でソリストとしてキャリアを積み、オーケストラとの共演やリサイタル出演を重ねる。多くの音楽祭にも招かれ、A.R.エル＝バシヤらと共演。映画音楽やバレエなど異分野とのコラボレーションも行う。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。様々な団体に社会貢献にも取り組んでいる。

ディアナ・リゲティ

Diana Ligeti

チェロ奏者・指導者として国際的に多彩な活動を展開し、著名な演奏家とも共演多数。アンサンブルでは「トリオ・ジョルジュ・サンド」等に参加。ミュンヘンのARD国際音楽コンクールファイナリスト、ドゥエ国際チェロコンクール優勝、大阪国際室内楽コンクール第1位。現在、パリ国立高等音楽院、リュエイユ・マルメゾン地方音楽院教授。18年、女性としてはN.ブーランジェ以来初めてフォンテーヌブロー・アメリカ音楽院アーティスト・ディレクターに就任。

ジャン・フェランディス

Jean Ferrandis

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、L.バーンスタインに「彼はまさにパン（牧神）である！」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立高等音楽院卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールで優勝。以後、各国で演奏活動を行う。録音では22年、モーツァルトのフルート四重奏曲全集をリリース。A.デスプラ等、現代の作曲家の作品を演奏することも多い。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。

マチュー・プティジャン

Matthieu Petitjean

パリ国立高等音楽院でJ.ティスに師事した後、ドイツのニーダーザクセン州立歌劇場とバイエルン国立歌劇場で首席オーボエ奏者を務める。イギリスのバルビローリ国際コンクールでフランス人初の優勝を果たし、ウィグモア・ホール等の舞台でソリストとしても活躍。現在モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団首席オーボエ奏者。フランス国立管弦楽団等の有名オーケストラや、Z.メータら著名指揮者との共演多数。パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

第35回 京都フランス音楽アカデミー イベントのご案内

公開レッスン

2026年3月28日(土) 11時30分～18時30分、
29日(日) 10時～18時30分

科 目：ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、オーボエ、
声楽、室内楽(各科目60分)※逐次通訳付

会 場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：¥2,000(1科目1教授につき)

¥7,000(1日通し券)

※受講生は入場無料

音楽学 特別レクチャー

2026年4月2日(木) 15時～17時

会 場：関西日仏学館(京都) 稲畑ホール

聴講料：¥1,500(一般)

¥1,000(学生/クラブ・フランス会員)

※受講生は入場無料

講 師：上田泰史(京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授)

受講生コンサート

2026年4月5日(日) 13時開演(12時30分開場)

各クラスから教授によって選ばれた優秀受講生のコンサート。

会 場：京都市立京都堀川音楽高等学校 ホール

入場料：無料 ※全自由席、予約不要

お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

Tel. 075-761-2114 Fax. 075-761-2169 E-mail. academie@institutfrancais.jp

公式サイトはこちら

academie.institutfrancais.jp

